

平成31年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立竜王北中学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学／英語に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、基礎学力は身に付いているとみられます。特に、書いた文章を読み直し、話の展開にふさわしい語句を選択する問題では、正答率が9割を超えました。一方で「読むこと」、特に文章に即して情報を整理し、内容を捉えることに課題がありました。
- ・数学では、平均正答率は全国および県よりもやや低い結果となりました。基礎学力の向上を図る必要があります。特に、「図形」と「資料の活用」の分野における正答率が低い傾向にありました。また、記述式・選択式の問題の正答率が低い傾向にあり、課題がみられます。
- ・英語の平均正答率は全国と同等の値で、基礎的な理解はできているとみられます。特に、「話すこと」においては、全国平均正答率よりほとんどの項目で上回っています。ただ、まとまった内容の英語を話すこと、正確な語彙や英文を使うことに課題がありました。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向が認められる項目
「朝食を毎日食べている」「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標をもっている」「学校に行くのは楽しい」「各教科の勉強（国語・数学・英語）がすき」「話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりしている」「新聞を読んでいる」「地域や社会をよくするために考えることがある」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「学校の授業以外に勉強をしている」「1日あたり2時間以上勉強する」「学校の規則を守っている」とした生徒の割合が低い傾向にありました。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・国語では、新聞の活用や教科横断的な学習によって、複数の情報を結びつけてまとめたり、自分の考えを表現したりする授業を増やしていきます。
- ・数学では、小テストなどを取り入れて基礎学力の向上を図るとともに、自分の考えを簡潔にわかりやすく説明する場面を多く取り入れた授業を行います。
- ・英語では、1つのテーマについて自分の考えや知識を表現するような活動を取り入れた授業を行っていきます。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・「家庭学習の手引き」を参考にしながら、家庭での学習内容を見直し、宿題だけでなく、自分の苦手なところや明日の予習などを自主的に取り組めるよう話し合ってください。
- ・保護者の方の読書体験やお勧めの本の紹介をしたり、家族でいっしょに読書の時間を設けたりするなど、家庭で読書する習慣をもつような働きかけをしてください。
- ・英語や海外への興味がさらに広くもてるよう、外国のニュースや情報を見聞きする機会を増やすようお願いします。また、例えば、親しみやすいディズニーなどの映画や音楽に家族で触れることもよいと思います。
- ・必ずしも新聞である必要はありませんが、今話題になっているニュースについて食事の時間に話し合うなど、社会の出来事に関心をもつような働きかけをお願いします。